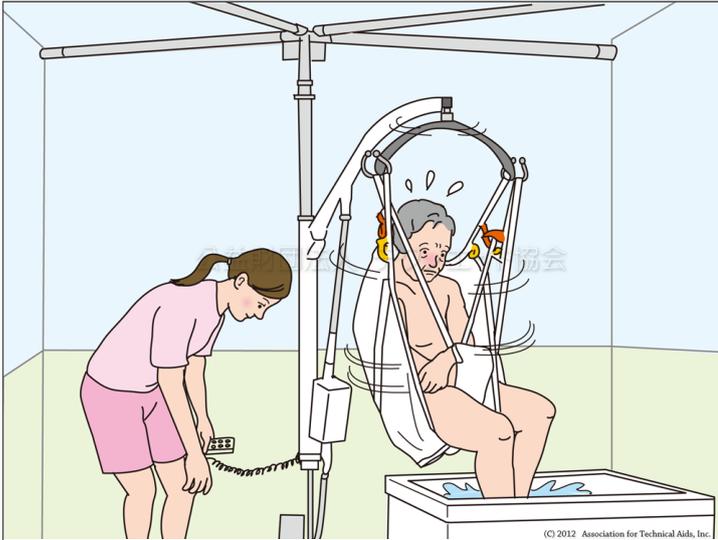


Case : 83

リフトを使用中、利用者の身体が回転してしまう

場面の説明

浴室でリフトを使用中、介助者が利用者の身体から手を離してしまった



利用シーン	 移乗  入浴
主な利用場所	 浴室・脱衣所
介護保険の種目	 移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード (CCTA95)	123612 (住宅用設置型リフト)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

リフトでの移動介助は不慣れな利用者にとって、とても不安が大きいものです。このような不意な動きを予防するだけでなく、利用者が安心して移動できるためにも、介助者は常に利用者の身体を支え、無用な動きの無いよう注意しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：リフトでの移乗介助に不慣れであった
- 人：介助者が利用者から目を離してしまった
- モノ：リフトがわずかに傾いて設置されていた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 83

リフトを使用中、利用者の身体が回転してしまう

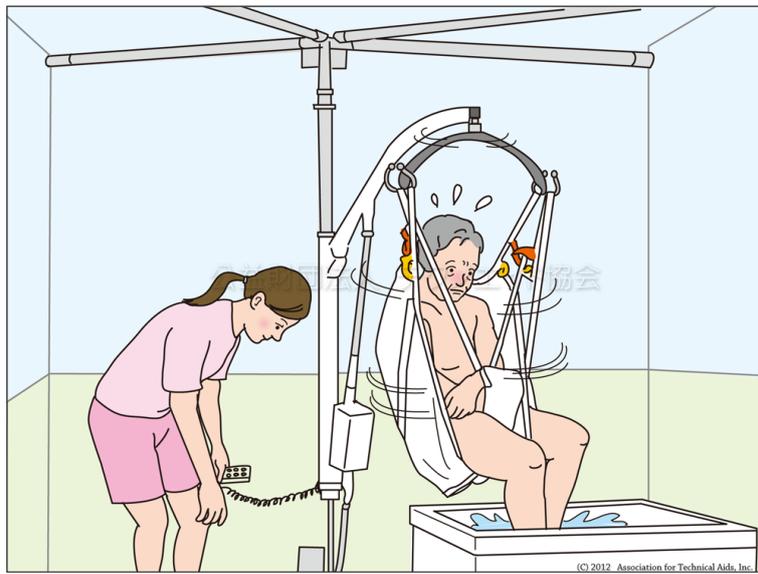
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

浴室でリフトを使用中、介助者が利用者の身体から手を離してしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ